

2013 年度東京学芸大学オープンキャンパス(2013/07/27)

AB 類英語科 分科会 資料

東京学芸大学英語科生に聞きました！

僕らの勉強法

～ 大学合格への道 ～

☆☆ 注意 ☆☆

この資料は英語科1～4年生に実施したアンケートをもとに作成しております。昨年以前のアンケートも活用しているため、のべ数百人分の意見を反映させて、様々な参考書や勉強法を紹介しておりますが、あくまで個人の主観の入った意見になります。「万人に等しく有効な学習法」というものは存在しないことを踏まえ、参考までにご活用ください。なお、参考書などの名称は回答者の記憶に基づいて記載しております。絶版や名称が多少違っている可能性もありますのでご承知おきください。

この資料が少しでも受験生の皆さんのお役に立てば幸いです。また、勉強法や参考書のことだけでなく、英語科の雰囲気や授業のこと、取得できる免許のことなど疑問に思ったことはぜひ教授や学生に相談してみてください。オープンキャンパスもきっと何かの縁ですから…。

1. 各教科の勉強で使っていた参考書・問題集と勉強方法について。

【国語】

- | | | |
|-------|-----------------|------------------------|
| (現代文) | ・ 出口のシステム現代文 | ・ センター現代文の点数が面白いほど取れる本 |
| | ・ ターゲット現代文（私大編） | ・ 高校で配られた問題集 |
| | ・ センター試験過去問 | |

- | | | |
|------|-------------|-----------------|
| (古文) | ・ マドンナ古文 | ・ ゴロ565 |
| | ・ 土屋の古文シリーズ | ・ フォーミュラ600古文単語 |
| | ・ 古文単語400 | ・ 中堅私大の古文 |

- | | | |
|------|----------|----------|
| (漢文) | ・ 早覚え速答法 | ・ 漢文マスター |
|------|----------|----------|



<勉強方法>

- ・ 古文、漢文は夏までに基本を復習しておく。
- ・ 暗記モノは寝る直前にやる。
- ・ センターは（特に夏以降）問題を解き、誤答のパターンを知り、間違いをはじく練習をする。
- ・ センターなどは解く順番を考えてもよい（おすすめは漢文→評論→小説→古文）。

(現代文)

- ・ 高校の授業で配られた問題集（センター対策）をひたすらやった。
- ・ 設問で注目するところを決めてから本文を読んだ（「〇〇の心情」なら〇〇が出てくるところ）。
- ・ 学校で重要語句とかのテストがあったのでそれに取り組んだ。
- ・ 高校（&予備校）の授業のノートをひたすら復習。予習は毎回やった。
- ・ 学校の授業を集中して聞いて、自分なりに考えて要約文をつくる練習をした。
- ・ 常識的な日本語力の強化。新聞を読む。

(古文)

- ・ 単語と文法に力を入れた。
- ・ 古文単語はゴロ565のCD付きのものを徹底的にやった。おもしろかった。
- ・ 助動詞の意味、活用と接続は必ず覚えていた方がいい。単語の正確な意味はそれほどいらず、プラスかマイナスかくらいのニュアンスで大体は解けた。
- ・ 単語は学校の帰り道に友達と問題の出し合いをした。学校の授業の予習はキチンとした。
- ・ 文学史で有名な作品の概要や書かれた背景、その時代の常識（祭と書いてあったら葵祭のこと等）を身につけておく。

(漢文)

- ・ 数をこなしていくうちに解けるようになった。問題を解くのは句法を覚えてからでも良いと思う。
- ・ 句法を覚えて過去問を解いた。
- ・ 高3の時の古典の先生がかつこよくて好きだったから頑張った。（好きな先生だと頑張れる。）
- ・ ひたすら演習をこなす。（Z会、河合塾の実践問題集がおすすめ。）
- ・ 英語で鍛えた推測能力を有効活用。

【社会】

- (世界史) ・一問一答(山川出版) ・実況中継 ・各資料集 ・私立赤本
・用語集(山川出版) ・世界史重要語句 Check List ・バック式世界史ゴロ覚え
・はじめから分かるセンター世界史 ・よく出る50題(Z会)
- (日本史) ・一問一答(駿台) ・資料集(駿台) ・日本史100題(Z会)
・センターはこれだけ! ・大学入試センター試験完全対策
- (地理) ・高校の地理を思い出す本 ・地図帳
- (政経) ・センター試験過去問 ・センター試験政治経済の点数が面白いほど取れる本
・政経ハンドブック(東進)
- (倫理) ・センター試験倫理の点数が面白いほど取れる本 ・大学入試センター試験完全対策
・センター対策倫理問題集
- (現社) ・0から100点まで狙えるシリーズ ・解決!センター現社



<勉強法>

- ・一問一答は学校で習ったところをすぐにやってくと効率的で後が楽。
- ・過去問は最低でも10年分は解いておく。
- ・公民科目は特に過去問対策だけでも点数を伸ばせる。
- ・教科書一冊を時代や分野ごとにまとめて直した(夏以前からやらないと間に合わない)。
- ・テキストに必要最低限のマーカーで人物→赤、場所→緑、出来事→黄などとポイントを整理した。
- ・マーカーは覚えた気になるだけだから絶対に引かなかった。

(世界史)

- ・まずは全体の流れを把握して細かい問題を解く。
- ・Z会の50題と100題をやればどの入試でも対応可能。センターだけなら50題の方を何周も解く。
- ・参考書を最初から最後までじっくりと読み、重要な部分は書いて覚えた。1つの参考書に情報は集約した。流れの確認と重要語句確認を5, 6回して、年代のゴロを作って覚えた。文化史はまとまっているページをコピーして持ち歩き意識的に見るようにした。
- ・自分でオリジナル年表を作る。

(日本史)

- ・1つのテキストを丸暗記! センターレベルならOK。(回答者はZ会のテキストを使用。)
- ・史料集にひたすら付箋を貼って自分だけのテキストを作る。
- ・校外模試の復習をしっかりとやった。
- ・史料を読む事に慣れていた方が良い。
- ・用語のほかに、意味、時代背景、他の出来事との関連を身につける。正誤判定、並べ替えにも役立つ。
- ・年表ノートなどで自分が見やすいように知識などを書き足していく。
- ・間違えたものは随時調べてまとめる。

(地理)

- ・問題集の対応ページに付箋を貼って何度もチェックした。
- ・図表問題が大半を占める為対策を講じる。地図帳、資料集、データブックとは仲良く。地図帳には書き込みを行う。

(政治経済)(現代社会)

- ・予備校の授業でもらうワークシートを見直して、間違えた問題をまとめるノートを作った。
- ・先生の言葉をひたすらメモした。
- ・教科書を何度も読み返す。時事問題の対策も忘れずに。
- ・パターンだからひたすら問題を解いた。その分だけ伸びる。

(倫理)

- ・10月くらいから現社から倫理に変更。学校にも倫理の授業は無かったので1からのスタート。テキストを読んで書いて覚えた。過去問を何年分も解いて問題の傾向を把握した。
- ・教科書・資料集を読んで「10分間テスト」で確認した。
- ・漫画が出ているから大まかな流れをつかんでから学習すると分かりやすい。

【数学】

- ・サクシード ・一対一対応の数学 ・Focus up ・Focus Gold ・青チャート
- ・ニューステージ数学 ・山本一郎先生のパターン30, 50 ・クリアー数学演習ⅠAⅡB
- ・ニュークオリティー ・ニューアクションα ・数学は暗記だ！(和田秀樹)
- ・はじめから分かる数学ⅠAⅡB

<勉強方法>

- ・センターの形式には癖があるから夏ころからセンター形式で練習してもよいと思う。
- ・センターの大問の解く順序を色々試してみる。それだけで気持ちの余裕ができて解く時間が変わる。
- ・とにかく問題を解く。センターの誘導形式に慣れておく。自分の力で解くのも大事だが、どうしても分からない場合は解答で解法を確認する(写してもいいかもしれない)。時間を決めて取り組む。
- ・数学が得意な人は私大の問題も解いておくともよい。数学で得点できるかどうか合否の分かれ目と言っても過言ではない。
- ・数学で満点を狙うなら2次レベルの勉強をした方がよい。
- ・模試などで間違えた問題を何日か経った後に解きなおした。専用ノートを作る。
→模試の問題をコピーしてノートに貼り書き直した。
- ・間違えた問題は①数時間後②次の日③1週間後④2週間後⑤1ヶ月後などと、とにかく繰り返して解法を覚えるくらいやり直すことが大切
- ・苦手だからと言って逃げない。できなくてもパニックにならない。
- ・解く前に何分以内で解くかを決めて時間を常に意識する癖をつける。
- ・40~50分で見直しまで終える訓練を積む。
- ・分からない問題を放っておかない。先生を有効活用する。
- ・問題集を繰り返し解いて、たくさんの解法に触れパターンを身につける。
- ・ケアレスミスをなくす。満点をとれるかどうかはこれに掛かっている。
- ・毎日欠かさず解いていた。数学はすぐ忘れちゃうから毎日(特に1日の始めに)解くことが大切。
- ・センター対策でも最初から最後まで答案を作れるようにする。
- ・数がものをいう。参考書を3周やって解法を叩き込む。



【理科】

- ・〇〇をはじめからていねいにシリーズ、 セミナー〇〇シリーズ
- (物理) ・物理のエッセンス ・マーク式問題集
- (化学) ・センター過去問 ・科学 I II 重要問題集
- (地学) ・センター過去問 ・センター試験地学の点数が面白いほど取れる本
- (生物) ・センター過去問 ・センター試験生物の点数が面白いほど取れる本 ・生物図録
- ・大森のセンター生物 ・生物リード α ・田部の合格39講

<勉強法>

- ・センターレベルはあまり高くない。基礎をとにかく大切に！
- ・センターの基本は消去法。正しいものを探すより、間違いをはじく方が数十倍楽。
- ・間違えたところを1冊のノートやテキストにまとめて自分だけの完璧の1冊をつくる。

(物理)

- ・医学部向けの問題を解いた。(元理系)
- ・問題が解けないとき、時間がある時にテキストを読んだ。問題をよく考え、見直す事。

(化学)

- ・理系科目全般に言えるが、どうしてそうなるのかを1つ1つ理解しながら解くことが大事。
- ・無機・有機の暗記事項は教科書で丸覚えして、計算問題は解く過程を大切にす。

(地学)

- ・過去問もたくさん解いておくと、分野ごとに傾向がつかめる。
- ・気候や地形・地質に関する問題は図を書いて考えるクセを付けておくとGood!
- ・図や表を紙に書いて壁一面に貼り、毎日見た。

(生物)

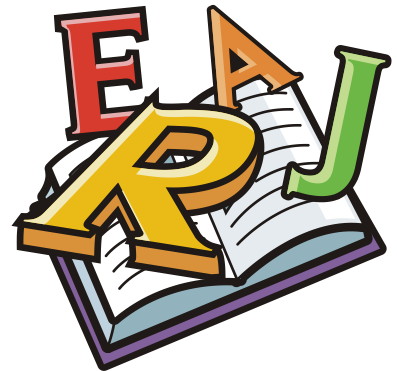
- ・参考書の対応ページに演習で間違えたところの解説を見ながら付箋に書き加える。
- ・田部さんのテキストを熟読すべし。遺伝などもパターンなので数をこなす事。最近は国語のような問題もあるので、よく読む。問題文に答えが隠れている。
- ・センター形式よりも記述形式の方に力を入れた。(元理系)
- ・図録をたくさん見てイメージで覚えた。

【英語】

- ・速読英単語（標準編・上級編）
- ・頻出英文法・語法問題1000
- ・ポレポレ
- ・2度聴き清聴トレーニング
- ・英語総合問題集（上級）
- ・英語精選問題1000
- ・東大・京大・外大の赤本
- ・速読英熟語
- ・ターゲット
- ・英語長文精講
- ・チャート式
- ・英語構文詳解
- ・英語問題総整理
- ・ロイヤル英文法
- ・多読英語長文
- ・ヴィジュアル英文解釈
- ・最難関大への英文解釈
- ・やっておきたい英語長文500/700/1000
- ・大学入試のリスニングトレーニング
- ・英文解釈の技術100
- ・英作文トレーニング（自由英作文編）
- ・Next Stage
- ・単語王
- ・Duo

<勉強法>

- ・解いた問題文を音読！意味を考えながら音読やシャドーイングをする。声に出して読むことでものすごく成績が伸びる!!
- ・大量の問題を解いた。
- ・NHKのテレビやラジオの英語番組を習慣にするといい。
- ・単語は通塾、通学、休み時間などの空き時間業務！
- ・夏の間には文法は完璧にする。出来れば単語も！秋からは問題演習をすべき。
- ・速読英単語を音読しながらやった。
- ・長文等で分からなかった単語を書きだしたMy単語帳をつくる。
- ・Next Stageは何周もして身にしみこむまで覚える。
- ・ラジオを録音して、シャドーイングやディクテーションを行う。
- ・センター試験の形式の変化に戸惑わない。
- ・ただ解くだけで終わらせない。声に出す！シャドーイングが有効。
- ・英検の勉強もしてみる（英作文対策になる）。
- ・毎日英文を欠かさず読む。
- ・先生に英作や読解の答えを添削してもらっていた。
- ・登下校中はリスニングの時間に充てた。
- ・新聞を読んで意見を200語で書く練習を毎日つけた。
- ・センターの文章は全部を読まなくても解ける！設問を見て、「何を探すのかを決める」→本文から探して見つける。ウォーリーを探せと一緒に。
- ・ひたすら英訳や和訳練習をした。構文を取れるように意識した。（帰国子女）
- ・自由英作文のために高校の先生（ALT含む）に添削してもらった。
- ・英文和訳、和文英訳、長めの英作文、過去問、単語を1日のノルマを決めて勉強した。
- ・センターや他の私大も含め、様々なところの問題を解いた。
- ・センターの1ヶ月くらい前までは2次試験の過去問をひたすら解く。センターが近くなったらセンター形式に切り替える。英語科受験なら一ヶ月センター対策やれば十分。
- ・センターはできて当たり前、二次の記述力、解答を書く力が必須となる。
- ・2次対策は過去問をいろいろやった。東北大とかのもやってみた。
- ・2次は時間配分に注意。ディクテーション対策は必須！
- ・90分の時間の中で見直しまでしっかり終わるようなプランを立てて解く。



2. 高3&浪人生の時の夏の過ごし方について。

- ・ひたすらセンターに向けた勉強！図書館と学校にこもってやっていた。
- ・浪人していたのでできる限り勉強した。といっても1日平均11時間くらいだった。1日の流れを方眼紙などにまとめてどの教科をどのくらいやったのかなど一目でわかるようにまとめたら、空き時間を少しでも減らそうという気になって勉強時間を増やせた。
- ・とにかく夏休み中は毎日塾に行って、自習室で朝から夜まで勉強していた！たまに塾の友達と話をしたり、近くを散歩したりと息抜きもしながら、ひたすら勉強！つらいときもあったけど、毎日充実してたなあ。
- ・塾に行っていなかったからとにかく毎日学校に行って、涼しい教室で毎日友達と勉強していた！家で一人だと鬱になるから、休憩時間に友達としゃべったり帰りにどこか寄ったり、息抜きしながら自分のペースでがんばりました！友達と勉強するとモチベーション上がるし、分からないところは教え合えて良い！
- ・心身の療養、センター対策、1日10時間キャンペーン
- ・友達と受験勉強頑張ってたな〜。勉強して、キツくなったらみんなとラーメン食べたり、遊んだりして、メリハリつけてやるといいよね！
- ・集中するために毎日図書館に行った。そのほかにも夏に限らず、単語帳などいつでもどこでもできるようなものは、5分とか中途半端に時間が空いた時や電車の中でやった。一学期の復習も大事。
- ・午前中4時間一番苦手なもの、午後4時間次に苦手なもの、夕食後1時間ずつ理科と文系科目という感じで机にいる時間を決めて勉強した。実際はぼーっとしたり、ちょっと昼寝したり...と、この時間休まず勉強したわけではない。そして10時間やったらその日の残り時間はごほうびとして英語(得意科目)を←これ大事
- ・幸い(?)実家の近所に何もなくて、平日は犬の散歩とゴミ捨てしか外出しなかったのが勉強に集中できた。誘惑の多い人はどっか集中できる場所を探した方がいいかも。
- ・自分は必ず読解→英作→読解の流れでやった。あいだの時間には他科目や気分転換で単語練習もやった。
- ・基本的に毎日勉強。センターを中心に、3割くらい二次も意識して勉強した。国語 数学 英語は、点が伸びるまで本当に時間がかかる。十分な時間が取れる夏休みは克服のチャンス。
- ・学校なくても登校してクーラーのきいている涼しい部屋で勉強しました！先生方も友達もたくさんいていつでも質問したり、頑張っている仲間がすぐ近くにいてやる気がでた！
- ・塾には通ってなかった！赤本を実力不足ながらも学大に限らず少し挑戦してみました^^
- ・ひたすら現実逃避してました(げふんげふん、一般的には、この時期に睡眠時間を削って死ぬ気で勉強し、10月位からは規則正しい生活を送る調整期間にするのが良いと言われているようです。
- ・センター対策でとにかく全教科基礎から叩き直した。基礎を確認する時間は夏休みしかないと思ったから。
- ・基本を大切に\(^o^)/
- ・部活が忙しくてほとんど休みがなかった。塾には行かずに、学校で汗だらだらかきながら部活以外の時間を利用して勉強しました。
- ・午前中...早朝から学校に行き、自習 or 講習、午後...文化祭準備、塾には行ってませんでした！
- ・遊ぶときは遊ぶ、勉強するときは勉強！メリハリのある生活が大切\(^o^)/！苦手は夏のうちになくす！！
- ・平日は学校の補習授業、学校の図書館で勉強、土日は図書館で勉強!!
- ・まだ部活を引退していなかったのが、時間を見つけて勉強していました。推薦だったのが、少しずつ小論文の練習を始めました。

3. 推薦のためにやったこと。

- ・推薦の英作文の練習。朝日新聞の天声人語に対する意見を200語で作文するというのを毎日やった。
- ・小論文の練習
- ・とにかく文章かいて先生に添削してもらうことの繰り返し。面接も同じく先生にやってもらう。
- ・英語の小論文対策を主に勉強していました。1日1つあるテーマにそって自分の意見を論述したのを先生に添削してもらい、書き直すといったことを毎日していた。あとは、英語の面接があったので、ALTの先生に面接指導をしてもらったり、ラジオ英会話を聞いたり、疲れたら洋画みたりしていました。
- ・学校の先生に協力してもらって自由英作文、英文を要約、面接練習(英語、日本語どちらも)を中心にやった。
- ・小論文は他大学の入試問題も使って様々なものを解いて学校の先生に見てもらった。
- ・高校でとにかく色々な先生(10人くらい)にお願いして面接の練習をした。質問とその答えを書いた「面接対策ノート」を作って自分なりのポイントを整理していった。
- ・面接の際に奇抜な質問が来ても答えられるように、聞かれそうなことに対する答えを丸暗記するのではなく、関連する単語をいくつか用意しておくくらいにした。
- ・面接官も人間のはずだから答えの暗記ではなく、自然に話せるように練習を積んだ。

4. 英語科の良いところ・好きなところは何ですか!?

- ・皆で企画して遊んだり、勉強したり、ご飯行ったり、とにかく楽しい!家族みたい(^^)dそれにみんな真面目!
- ・みんなわいわい楽しいところ!意識の高いところ!何事にも全力投球(遊びにも)!!もう全部好きっ!(///▽///)
- ・やることはやる。やらないことはやらない。
- ・全部!Crazyな人ばかりだけど一生懸命で頑張りやさんで面白くて大好き!みんなと一緒に何しても楽しい!
- ・頭いいって他学科に言われる。
- ・アットホーム感がやばい♪カードしててもきもいと思われなくて、英語科の仲の良さがあるよね(笑)
- ・みんな性格◎、しゃべれなくても生きられる!
- ・少人数!!A類かB類か始めは分からないくらい仲よし!先輩もがあったかくて勉強しやすい環境がそろってる!
- ・学科の人数が少ないので、みんなの仲のよさがんばらない!もはや家族みたいな存在です♡他の大学行ってる人の話とか聞くと、学科でのつながりはあまりないって人が結構多いので、同じ学年だけでなく先輩後輩の仲もこんなにいいのって珍しいんじゃないかなって思います!
- ・先生方がステキで个性的で授業が楽しい。
- ・(他学科とくらべて)少人数での授業がおおく、ひとつひとつの授業が大切にされている。
- ・困った時は助け合い協力し合い、一緒にふざけたり騒いだりできるかけがえのない仲間たちがそろってる!
- ・人数少ないから他の学科よりも仲良くなれる。~~変人~~個性豊かな人がいっぱいいること…。飽きません!
- ・明るくて仲が良いところかな。あとみんなわりとアクティブ!
- ・やっぱり人数少ないし縦の繋がりもあるし教授との距離も近いから英語を勉強するには最高の環境ってところ。
- ・人数が少ない分、まとまりがあつていろんなイベントも計画すればすぐに実行できちゃう!
- ・みんな個性的だけど仲良い!
- ・人数が少ないから、高校の延長みたいな感じで大学生活をenjoyできる。
- ・他学科も羨むほどの仲の良さ!人数少ない分、みんな仲良し。先輩とももちろん!
- ・意識が無駄に高いところ。仲間から刺激を受けて怠けてなんかいられないくらい。
- ・誕生日とか、学校のイベントの打ち上げとかみんなで集まって楽しく騒げる場所!
- ・元気がないときも、とりあえず英語科にいれば「なんとかなる!」って明るくなれます
- ・みんなが個性にあふれてて、それぞれ良いところがあって、仲よすぎて、超たのしい\(^o^)/
- ・ほとんどに人の目標が一緒だから互いに高めあえる。
- ・英語について意識が高く、英語について色々話れる。

5. 最後に未来の後輩たちに一言どうぞ！！

- ・学芸大英語科は家族みたいに良いとこで、英語を勉強するにはほんとに最高のところですよ。
- ・英語科は本当に居心地がよくって楽しいです！あたしはここにいて幸せだなあって思います(*´`*)入って後悔はしないと思う!! 頑張っってね! みなさんが学芸大英語科に入学することを心からお待ちしております♪
- ・受験勉強大変で、つらいこと、不安なことも沢山あると思うけど、その分、大学入ってから楽しいこともいっぱいだよ！一生の思い出になる、すごく素敵な出会いが待っているから、ぜひ諦めないで頑張っってください！
- ・最後まで諦めないでぜひ入学してください。(^^) めちゃくちゃいいところですよ
- ・英語好きな人 welcome! 理想を高くもち、まっすぐ英語と向き合える人に来てほしいです!
- ・受験生時代は本当に辛いことが色々ありましたが、その日々をこえたからこそ楽しい今がある!
- ・受験期、夢の中で英語をしゃべってました。実際全然話せないけど！でも英語漬けの日々も悪くないです、楽しいです。ぜひいらっしやーい。
- ・受験はつらいことばかりで大変だけど、頑張った分だけいい事待ってるよ!! がんばれーーーーい!!
- ・楽しい大学生活を想像して、受験を乗り越えて。
- ・入学する前は人数少なくて不安だったけど、英語科は少ないからこそみんな仲良しで楽しいよ。
- ・受験は大変だけど、合格して英語科のみんなに会えた瞬間に全てが報われます!! がんばって!
- ・受験期、頑張ったらその分楽しいです! 団結力やばい!! みんなのこと待ってます。
- ・受験で頑張っって勉強したことは大学でちゃんと役立ちます。大学生活は想像以上に楽しいよ!!
- ・受験を乗り越えてでも来る価値は絶対にある。会えるのを楽しみにしています! 皆を温かく迎え入れます。
- ・今は学芸に入っって本当良かったと思っっています。これから色々キツイとは思っけど意識やモチベーションを高く持っって頑張っってください。
- ・受ければ楽しいことばかりです。だから受験も楽しんで! 今頑張れば、かならず良いことがあるよ!!
- ・No pain, no gain!! ・One for all, all for one. ・Believe yourself.
- ・努力は絶対に報われるよ! だから折れずに頑張っってください。勉強しただけ、大学生活は楽しいよ!
- ・センターで勝負! 二次では差はつかない!
- ・「やっぱりここに入っってよかった」そう思える学科です。もうひと頑張りして、あなたも英語科ファミリーの一員になりませんか?
- ・自分に負けず、笑顔で頑張れ〜! 夢に向かってファイト\(^o^)/
- ・受験勉強はやれるだけしかやれんものだからやれるだけやればいい。 Time waits for no one.
- ・幸せになりたいなら、英語科に! 迷ってるなら入る! 未来で待っってます! マイペースを貫いて!
- ・I'll wait for you in the future.
- ・大学生になったらやりたいことをたくさん書き出しておこう!
- ・我々が目指すのは満点ではない。合格点(スレスレ)だ!
- ・入るのはちょっと hard ですが、入ったら paradise です。辛いときは仲間と助け合っってあきらめずに!
- ・高校生活を大切に! 大学ではできないことがゼッタイにあります。(大学でしかできないこともあります)
- ・勉強のために部活をやめることはしないで! それは甘えであっって本気になれば両立くらいできる。
- ・受験も大事だけど、高校生活だっってかけがえのないもの。しっかり楽しんで悔いを残さないようにしてください。大学合格の扉は、高校生活を悔いなく送っった者にこそ開かれますよ。
- ・辛くても、逃げたり言い訳したりしないで努力しつづけた人が受かります。学芸を受けるっって決めたなら、諦めないでやるべきことを続っってください。
- ・勉強はつらいことや投げ出したい時もたくさんある。でも、その努力の分、合格をつかみ取っった時の喜びが増えるはず。今できることを思いっきりやろう。大学受験をする一年が人生で 1 番勉強した 1 年になるはずですよ。その 1 年を思いっきり勉強して第一志望に合格するか、そこそこ勉強してそこそこの大学に行くかはあなた次第。努力した人が必ず成功するとは限らないが、成功する人は必ず努力をしている。

英語科の学生が実際に行ってきた勉強や、みなさんへの熱いメッセージをお届けしました。原文のまま掲載してあるところも多く、読みにくい箇所もあったかもしれませんが。それでも、英語科の先輩がどんな勉強をどんな思いでしてきたのか、その結果としての学芸大での大学生活をどのようにとらえているのか、少しでも感じ取っていただけたなら嬉しく思います。たくさんのメッセージを載せましたが、ここに書ききれないくらい多くの良さが英語科にはあります。もちろん良い所だけではなく悪いところもあると思います。しかし、それらを全員で乗り越えようと頑張れるのも英語科だと確信しています。

最高の仲間と過ごす、かけがえのない時間、それをつくり出すのは受験を突破したあなたたちです。

勉強が辛くて嫌になるかもしれない。

勉強をする意味も見えないかもしれない。

その意味は英語科での生活の中で見つけてください。

まずはやらないことには始まらない。意味はあとからついてくる。

桜の咲く季節、学芸大のキャンパスでお会いしましょう！

(作成 東京学芸大学 英語科みんな)